

<第4159回>

目的地：北八ツ（双子池）・霧ヶ峰（車山）・中山道（鳥居峠）

担当者：後藤重雄

実施日：2021年7月31日（土）～8月2日（月）

形式：小屋泊 ハイキング

費用：¥43,150

参加者：8名

満田克己・光崎伸和・鈴木絹子・新里美和・松原清・松原博美・町田喜勝・後藤重雄

行程：

7月31日（土） 天気：晴れ一時曇

新大阪（7:39）⇒（8:28）名古屋（9:00）⇒（10:53）塩尻（11:03）⇒（11:26）上諏訪⇒（12:05）車山肩（12:15）⇒（13:10）車山頂上（13:20）⇒（13:40）車山乗越（13:45）⇒（14:20）車山肩（14:45）⇒車山高原（乗換）（15:00）⇒（16:00）茅野駅⇒（16:05）旅館わかみず〔泊〕

8月1日 天気：晴れ一時雨後ち晴

旅館わかみず（7:50）⇒（9:00）大河原峠（9:20）⇒（9:50）双子山（10:10）⇒（10:55）双子池（11:15）⇒（12:30）亀甲池（12:40）⇒（13:15）亀甲分岐（13:25）⇒（14:40）大河原峠（15:00）⇒（16:40）旅館わかみず〔泊〕

8月2日 天気：晴

旅館わかみず（7:15）⇒茅野駅（7:33）⇒（8:03）塩尻（8:16）⇒（8:39）奈良井駅（8:50）⇒（9:20）鎮神社⇒（9:45）途中（10:00）⇒（10:50）鳥居峠（11:00）⇒（11:30）途中（11:45）⇒（12:35）道の駅（13:15）⇒ 藪原駅（13:38）⇒（15:16）中津川（15:50）⇒（17:16）名古屋（17:41）⇒（18:30）新大阪駅

感想：

- ・車山肩は、2年前に来た時は、沢山のニッコウキスゲが見られたのですが、今年は少ししかなく残念でした。しかし、アザミが沢山咲いていて、綺麗でした。頂上では、遠くに雷鳴が響き、時おり稲妻が光り、すぐに下山を始めました。車山湿原を経て、車山肩に戻り、バスで茅野にむかいました。
- ・昨年に続き宿泊した『旅館わかみず』は、例年なら各大学・高校の合宿で一杯なのですが、今年も高校1校しか宿泊しておらず、旅館の人に聞くと、緊急事態宣言後に、多くのキャンセルが、あったとのことでした。しかし、昨年同様に、夕食は美味しく、ボリューム一杯で、私は、ビールがすすみました。
- ・ジャンボタクシーで到着した大河原峠は、蓼科山や双子池にむかう多くの登山者の車で、一杯でした。双子山を経て到着した双子池は、静かな静寂の中の、雄池と雌池の2つの湖でした。双子池から亀甲池へ向かう途中、大岩と苔の滑りやすい道で雷雨にあい、歩きにくい道を、何とか亀甲池にたどり着きました。天祥寺原から、緩やかなササの道を進む頃には、雨もあがり、青空になり、大河原峠での、タクシー予約時間に、なんとか間に合うように到着でき、やれやれでした。
- ・風情のある奈良井宿は、朝早い時刻のため、まだ多くの店が閉じていました。鳥居峠への道は、石畳もあり歩きやすく、フシグロセンノウの花もみられ、緑と青空の夏を感じる楽しい道でした。涼風と冷たい水の流れる趣のある鳥居峠を過ぎ、トチの大木が何本もある道を、藪原駅へと向かいました。駅近くの道の駅で昼食をすませ、みやげを購入し、藪原駅から帰阪の途につきました。今年も、みんなで夏山に行けて、良かったです。

特記

- ・新幹線・特急・宿とも人が少なく、気の毒なくらいでした。その分、ゆっくりは、できましたが。
- ・宿はコロナ対応で、マスク装着・手洗い・食事は、1テーブルに2～3名で、ディスタンスを確保し、会話程度で、静かに、いただきました。